

3 1. 鹿児島県におけるてんかん地域診療連携体制整備事業（2023 年度）

鹿児島大学病院てんかんセンター 花谷 亮典

1. 概要

2023 年 2 月 16 日に第 5 回の協議会を開催し、拠点病院を中心とした 2023 年度の活動報告と、2024 年度の活動計画報告が行われ承認された。

鹿児島県てんかん治療医療連携協議会構成委員 12 名
鹿児島大学てんかんセンター 医師 2 名（センター長、副センター長）
鹿児島医師会（常任理事）
鹿児島県精神科病院協会（理事）
てんかん協会鹿児島県支部
鹿児島県看護協会
鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会
鹿児島県精神保健福祉士協会
鹿児島県精神保健福祉センター（所長）
県立保健所長会（始良保健所長）
鹿児島県教育庁（保健体育課長）
鹿児島県くらし保健福祉部（精神保健福祉対策監）
事務局：鹿児島大学てんかんセンター（拠点病院）
鹿児島県くらし保健福祉部障害福祉課

2. 活動状況

COVID-19 による行動制限の解除に伴い、拠点病院を中心としたてんかんの診療と福祉の連携体制構築に向けた取り組みを継続している。

2023 年度の計画に基づいて、以下の活動を行った。

1) てんかん診療についての普及啓発

①啓発活動

パープルデー：てんかん協会鹿児島支部会員・鹿児島大学てんかんセンターコーディネーターらによる街頭啓発活動、および鹿児島大学てんかんセンター医師による Web 講演会を開催した。

講演活動：鹿児島大学医師らによる医師向けのてんかん診療啓発活動を続けている。

②行政職員研修

看護師、保健師、社会福祉士、精神保健福祉士、事務職などの行政職員を対象に、てんかんに関する講演研修を行った。

③全国てんかんセンター協議会 2023（栃木大会）への参加と発表

てんかんコーディネーターと臨床検査技師が発表を行った。

2) てんかん診療拠点機関と地域の中核病院や地域診療施設との連携

①診療拠点機関はオンライン連携診療の啓発に努め、遠隔地患者の受診・治療意識の向上に努める。

3) 県てんかん診療拠点機関の活動

①データの蓄積

②研修活動

院外医師を含めたハイブリッド形式の定期カンファレンスを開催

③啓発活動

医療者に対するセミナーの提供、市民向けの啓発セミナー

④コーディネーター研修支援

認定てんかん診療支援コーディネーター取得のための支援活動を継続している。

3. 課題解消に向けた取り組み

1) 診療拠点機関のてんかんコーディネーターによる相談・診療連携業務

てんかん診療支援コーディネーターの配置や育成に関わるコストの問題は、各県単位では困難。コーディネーターに興味を持つような啓発の継続。

2) 鹿児島県内の診療連携体制整備に向けた調整

県内診療所におけるてんかん診療に対する意向調査を行う。また、各地域で一定水準の対応が可能なように対応法や、情報を得られる場所を記載した説明資材などの作成や、既存資料の案内を行う。

3) 行政ネットワークとの連携

研修会を通して、窓口となる職員や福祉関係の職員がてんかんに関する知識を習得できるよう、啓発活動を通しててんかんに関する知識や意識の共通化を図る。